



2019年9月6日

各位

会社名株式会社スマレジ
代表者名代表取締役山本 博士
(コード番号:4431 東証マザーズ)
問い合わせ先取締役 管理部長 田川 良行
TEL. 06-7777-2405

2020年4月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年6月14日に公表いたしました2020年4月期(2019年5月1日～2020年4月30日)の第2四半期累計期間及び通期における業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 2020年4月期第2四半期(累計)業績予想の修正(2019年5月1日～2019年10月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,154	211	211	164	17円48銭
今回修正予想(B)	1,669	418	418	295	31円45銭
増減額(B-A)	515	207	207	131	—
増減率(%)	44.6	98.2	98.2	80.2	—
(参考)前期実績 (2019年4月期第2四半期)	875	176	176	124	16円03銭

2. 2020年4月期通期業績予想の修正(2019年5月1日～2020年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,500	489	489	368	39円22銭
今回修正予想(B)	3,080	642	642	440	46円86銭
増減額(B-A)	580	153	153	72	—
増減率(%)	23.2	31.2	31.2	19.5	—
(参考)前期実績 (2019年4月期通期)	1,976	431	408	293	36円69銭

3. 修正の理由

当第1四半期累計期間（2019年5月から7月）における売上高は、当初想定していた新規獲得に加え、軽減税率補助金制度が徐々に好影響をもたらしていましたが、7月度より問い合わせが著しく増加し、大きく上回る見込みとなりました。また当第2四半期会計期間におきましても、軽減税率補助金申請の駆け込み需要等の効果が大きく見込まれ、8月度の売上高にもその効果が表れており、9月度にピークを迎え、10月度にも影響が生じる想定であります。売上総利益率においては、軽微な減少（1.5%程度）はあるものの、クラウドサービス機器販売等の売上高増加に伴うものであり、一時的なものであります。

営業利益率においては、増収により上昇する傾向にありますが、ショールームの増設や認知広告・スマレジ 4.0 開発に関連する投資等を中心に、より積極的な短中期的活動を実施することで、当初計画通り営業利益率約 20%程度に着地する予定であります。

以上により、2020年4月期第2四半期（累計）及び通期の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益及び当期純利益のいずれも当初発表予想を上回る数値に修正するものであります。

（注）上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上